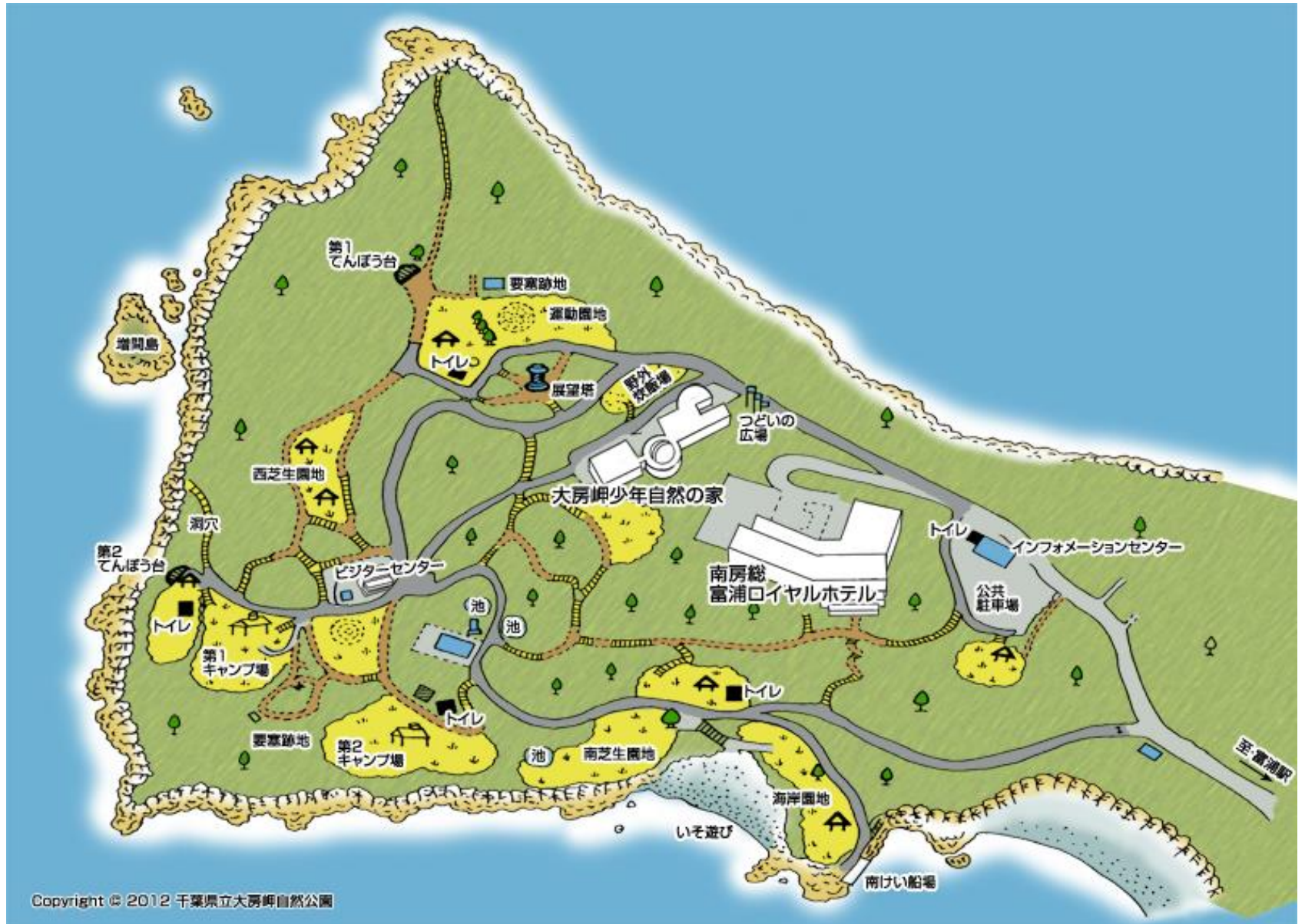


千葉県立大房岬自然公園 地図



大房岬自然公園



大房岬外觀



運動園地



海岸園地



第二展望台

大房岬自然の家



外観



宿泊室



浴室



体育館

大房岬の現状



2019年9月によって大きな被害を受けた大房岬自然公園



そのままになってしまっている倒木、進行するナラ枯れ

大房岬の現状



子ども達へ向けた環境教育プログラムの実践



森づくり活動（土壌改善）の実施



少しずつ広がる森林保全活動の輪



倒木を整理し、活用へ向けた展開へ

これまでに実施した森づくりプログラム①

【未来のための森づくりプログラム】

【対象】 千葉県我孫子市の小学校4年生 130名

【日にち】 2021年11月8日（月） 9:00～11:00

【内容】

台風により傷んでしまった森の再生のために、土中に水が浸透し、回復するための整備作業を体験してもらいます。森の再生は土の状態を改善することが重要だということを体験的に学んでいただきます。

【体験内容】

- ・ 台風により倒れてしまった倒木の片付け作業
- ・ 土壌の環境改善のための作業
- ・ 森、土、海のつながりから、豊かな自然環境を守るために何ができるか考える



これまでに実施した森づくりプログラム②

【南房総学 森づくり編 海と森のつながりを体験する】

【対象】千葉県南房総市中学校3年生 42名

【日にち】2021年12月10日（水） 9:30～14:30

【内容】

15名のチームごとに75分ローテーション

①伐採の補助

チェーンソーを使った伐採作業を見学・補助する

②伐採木運搬作業

（森のようちえんはっぴーの幼児と一緒に） 運ぶ人切る人に分かれる。
径が6センチ～10センチのマテバシイをノコギリで長さ60センチに切る。
炭焼き窯で焼いて炭になって帰ってくる

③土壌改良作業

（森のようちえんはっぴーの幼児と一緒に） 木の根元に貫通ドライバーで穴をあけて、燐炭を入れ、枯葉を縦に筒状に丸めて差し込む



緑の募金一般公募事業 NPO法人千葉自然学校 事業スキーム

森林整備6回程度

ナラ枯れしてしまった木や、放置された唐木などの整備作業と、次世代の森づくりのための土壌の環境作業。

整備で出た木を、木炭として活用し資源循環を体験

炭焼き体験を通した里山の資源循環を学ぶ場づくり

炭焼き体験2回程度

自然の家の利用団体や、一般の方向けのイベントなど、資源として木の活用することを体験し、エネルギーについて学ぶ

森の遊び場づくり2回程度

炭焼き窯を中心とした、子どもたちが森に親しめるような遊び場づくり。

環境教育の場、森と親しむ場としての森づくりを目指す

炭焼き窯の完成

炭焼き窯づくり3回程度

千葉県君津市で実践されている半兵衛炭焼塾の方を講師にお招きし、DIYでの炭焼き窯をワークショップ型で実施。

【想定参加者（公園）】
大房岬自然公園に愛着のある方、南房総の自然環境を守っていききたい方

【想定参加者（自然の家）】
宿泊学習などで利用する学校団体
イベント参加者

大房岬ビジターセンター

千葉県自然保護課管轄
指定管理者として当法人が大房岬自然公園を運営。敷地面積41.3ha
森と海に囲まれた自然豊かな自然公園

南房総市大房岬自然の家

南房総市教育委員会轄
指定管理者として当法人が運営
主に青少年教育の研修を目的とした宿泊施設
様々なアウトドアプログラムを展開している

NPO法人千葉自然学校（実施者）